



1周年を迎えたトライアウトえひめのメンバーの皆さん

もっと詳しく知りたい方は…

○産業情報支援センター

TEL0897-53-0010 FAX0897-53-0011

Eメール info@saijo-sics.co.jp

サイクスのホームページもご覧ください。

http://www.saijo-sics.co.jp/

産業情報支援センターの運営組織である(株)西条産業情報支援センター(愛称:サイクス)の各種情報をお知らせします。

今回は、「LLPトライアウトえひめ」についてお知らせします。

LLP トライアウトえひめ設立一周年



中小企業基盤整備機構
資金支援課 課長代理
石井芳明氏

西条発の技術を作り、世界に発信していきたいという思いを胸に、優れた技術をもつ地域中小企業が連携して誕生した有限責任事業組合(LLP)「トライアウトえひめ」が設立一周年を迎えました。日本で最初に設立したLLPであるトライアウトえひめは、全国でも珍しいモノ作り中小企業を中心としたLLPということもあり、全国から注目を浴びています。

LLPの背景とトライアウトえひめへの期待

近年、ビジネスを巡る環境が大きく変化しています。国境を越えた企業間競争が激化し、市場の成熟に伴い顧客ニーズが複雑化しています。このような状況を受けて、企業が優位性を保つための経営資源として技術、企画力、アイデア、ノウハウなどの「人的資本」の重要性がクローズアップされています。また、会社や個人が「共同事業」を実施することの重要性も高まっています。人的資本や物的資本を出し合って、相互補充、資源共有、リスク共有の共同事業を実施することで、より強固な競争力、より大きな顧客価値を創出することが可能となります。

こうした中、人的資本を活かす組織、共同事業のための組織として、パートナーシップ型の組織形態が注目されています。パートナーシップは個性を有する個人・法人が一定の目的のもと共同事業を営

む組織です。株式会社のように資金供給者である「株主」対「経営者・従業員」という分離構造でなく、「出資者」経営者(パートナー)というのが基本の共同体で、業務執行、利益分配等の組織の内部分割をパートナー間で自由に設定できます。専門的な能力を有する個人にとっては「会社に雇われる」のではなく、「自らが自らのボスとなる」ので、自分たちの能力を引き出しやすい組織づくりができます。また、会社同士の連携においても、資本の論理でなく、より柔軟な「手作り」の共同体の設立が可能となります。

経済産業省においては、このようなパートナーシップの普及を図るため有限責任事業組合(LLP)制度を創設し、平成17年8月1日に施行しました。そして、西条産業情報支援センターがけん引役となり設立された「トライアウトえひめ」は、その記念すべき第1号です。技術力のある個性豊かな中小企業の共同体として、新しい中小企業の連携のあり方、新しいモノ作りのあり方の先駆的なケースです。経済産業省並びに中小企業基盤整備機構としても「トライアウトえひめ」の益々のご発展を期待しています。

トライアウトえひめ誕生 1周年記念講演会



去る9月29日に東京で、トライアウトえひめの1周年記念講演会が、盛大に開催されました。

講演に先立ち、トライアウトえひめ代表職務執行者である伊藤博氏が挨拶し「中小企業でも、国内製造業の空洞化や海外との競争に耐えるには連携が必要である。これまでの取り組みで中小企業でもやればできるという自信が持てるようになった」と力説。会場には、国や自治体、中小企業の関係者約100人が集まり、西条市の先駆的な取り組みに対する関心の高さがうかがえました。